

高岡ロータリークラブ

会長／田中 哲 幹事／山口 洋祐



2024/10/17

No.15

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 車会場監督 点鐘 田中 会長

国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

会長挨拶／報告

■誕生祝

岡本 一剛 さん (10/18・52才)

永田 義邦 さん (10/19・86才)

菅野 克志 さん (10/21・59才)

幹事報告

■理事会 ⇒ 本日 13:30～ 桐の間

委員会報告

■第2回親睦ゴルフ大会の結果報告…柳澤委員長

■IDMのご案内…塩崎委員長



ニコニコBOX 10件 32,000円



田中会長／今朝、新入会員の勧誘に行ってきました。80名まであと1人です。

才高副会長／大越さん、卓話、よろしくお願いします。
山口幹事／本日、卓話、大越さん、よろしくお願いします。

山岡君／大越さん、卓話楽しみにしています。

伏江君／高岡 RC 第2回親睦ゴルフ大会ハンディーのおかげで2位となり景品の松茸をいただき、居酒屋のマスターに調理をお願いして友人と美味しくいただきました。大越会員の卓話楽しみにしています。

永田君／86歳の誕生日祝いをいただきました。今後とも変わらぬご交誼賜りますようお願いいたします。

菅野君／誕生祝い ありがとうございます。大越さん、卓話よろしくお願い致します。

谷道君／本日、早退させていただきます。

大川君／本日、申し訳ありませんが退出させていただきます。

四津谷君／本日早退いたします。今、インターアクトの関係で瑞龍寺、伏木高校を舞台としたマンガを構想中です。タイムリープで今と江戸時代を渡って前田家の秘密を 説き明かす話で、「時をかける少女」と「君の名は」の合体バージョンです。あと戻りできないようここで発表しときます。ありがとうございます。

<プログラム>

会員卓話

「仏像制法技術の歴史

日本の寺院・仏像は

シルクロード文化の集大成」

大越 則夫 会員

仏像の歴史は飛鳥時代に始まり、最初に作られたのが「金銅仏」です。これは一度粘土で型を作り、その後銅を流し込んで作る技法で、日本で最初の仏像とされています。奈良時代に入りますと、仏教が国の支援を受けて非常に発展し、仏像も豪華なものが作られるようになります。特に漆を使った「乾漆造り」の仏像が多く作られました。この時代の仏像は軽量で持ち運びやすく、火災の多かった時代に非常に重宝されました。例えば、興福寺の阿修羅像などが有名です。

平安時代に入りますと、「一木造り」という技法が登場します。これは一本の木から仏像を作る技法で、日本古来の神木への信仰と仏教が融合して生まれたものです。この技法では木をパーツごとに分けて彫り、それを後で組み合わせることで一つの仏像を完成させます。平安時代の後期になると、仏像をたくさん作ることで功德が積まれるという思想が広まり、分業体制が確立され、複数の彫刻家が協力して一つの仏像を作るようになりました。これにより、大型の仏像も効率的に作られるようになりました。

鎌倉時代には武家社会の影響を受けて力強い作風になります。代表的なものとして、東大寺南大門の金剛力士像や京都の三十三間堂の千手観音像が挙げられます。江戸時代には財政再建のため、幕府が3尺(90センチ)以上の仏像は許可制にするなど制作を規制し、仏師の廃業が相次ぎました。

仏像には如来、菩薩、明王、天部という分類があります。如来は修行を終えた存在で、菩薩はまだ修行中です。

そのため、菩薩は装飾品をつけて華やかですが、如来はシンプルな布一枚で表現されます。皆さんも仏像を見るときに、そうした違いに注目していただければと思います。

仏壇にはシルクロードを通じて伝わった文化の影響が色濃く見られます。例えば、獅子や龍、象、牡丹などの彫刻は、エジプトやメソポタミア、ペルシャ、インド、中国を経て日本に伝わってきたものです。獅子はエジプトのスフィンクスと関連し、龍は中国の神聖な存在として知られています。また、牡丹は中国で「陸の王」とされ、仏教の象徴として多くの仏壇に描かれています。

鶴と亀は長寿の象徴です。特に鶴は夫婦円満の象徴でもあり、一度パートナーと結ばれると、一生そのパートナーと共に過ごすと言われていました。仏教では鶴と亀は互いの特徴を尊重し、支え合う象徴として重要な意味を持っています。最近では家具調の簡易な仏壇が広がっていますが、中の彫刻の一つひとつに深い意味があります。業界とお寺が一体になって、仏壇への理解を深めていきたいと考えています。